

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/06/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587026902	科目番号 / Course code	05870269
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12111_005		
授業科目名 / Course title	心が安らぐ安全な社会づくり (医療現場の安全と安心) / Safety and Relief in the Health Care		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小関 弘展 / Koseki Hironobu, 佐々木 規子 / Sasaki Noriko, 長井 一浩 / Nagai Kazuhiro, 石松 祐二 / Ishimatsu Yuji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	小関 弘展 / Koseki Hironobu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	小関 弘展 / Koseki Hironobu, 佐々木 規子 / Sasaki Noriko, 長井 一浩 / Nagai Kazuhiro, 石松 祐二 / Ishimatsu Yuji		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	koseki nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	医学部保健学科3 F		
担当教員TEL / Tel	095-819-7961		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日午後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	医療、介護、福祉に関わるトピックスと現場における課題を取り上げ、人間の安心・安全とは何かを学修するとともに、自らの社会生活での危機管理に応用する。教員を含めて学生同士が互いに学び合い、相互理解を深める。		
授業到達目標 / Course goals	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。</li> <li>2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。</li> <li>3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。</li> <li>4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。</li> <li>5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。</li> <li>6) 医療や介護現場における安心安全の内容とその背景を知識として習得し、諸問題への対応力を身につける。</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	各講義後に提出するレポート (30%)、講義への参加・貢献 (30%)、各単元の最終講義時に提示する課題 (40%) で総合的に判定して成績評価を行います。授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格となります。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	予習、復習、自主学習の方法については、科目を通して共通の取り決めはありません。各担当教員の指示に従ってください。		
キーワード / Keywords	医療、加齢、介護、感染症、リスクマネジメント、医療過誤		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書はなし。 各単元ごとに講義用資料を提供する。 随時、講義のテーマに関するURLや参考文献を提供する。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	全学モジュール?T「安全で安心できる社会」を受講した学生		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	各種メディアを利用して関連する事柄を調べることが、理解を深めるために有用です。特に理由がない限り、講義には出席してください。レポートは出席評価にもつながりますので注意してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	小関 弘展/医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、医療、介護、福祉に関わるトピックスと現場における課題を取り上げ、人間の安心・安全とは何かを学修し、医療や介護現場における安心安全の内容とその背景を知識として習得し、諸問題への対応力を醸成する。/ 石松 祐二/現役医師が病院における実務経験/実務経験に基づき、医療、介護、福祉に関わるトピックスと現場における課題を取り上げ、人間の安心・安全とは何かを学修し、医療や介護現場における安心安全の内容とその背景を知識として習得し、諸問題への対応力を醸成する。/ 佐々木 規子/認定遺伝カウンセラー、助産師/遺伝医療における専門職の役割と連携、遺伝カウンセリングに関する講義/  長井 一浩/輸血部および血液内科において医師としての実務経験を有している。/輸血部および血液内科における実務経験に基づき、医療、介護、福祉に関わるトピックスと現場における課題を取り上げ、人間の安心・安全とは何かを学修し、医療や介護現場における安心安全の内容とその背景を知識として習得し、諸問題への対応力を醸成する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回（日時）/Time(date and time)	授業内容 / Contents
4	小関弘展（医学部保健学科教授）：加齢、介護 生物としてのヒトは加齢による身体的変化を許容しなければならず、日常生活動作が自立できなくなれば介護の対象となる。要介護となれば、基本的行動である移動能力や日常生活動作、摂食嚥下機能が障害され、免疫力低下や呼吸器や循環器などの臓器障害、認知症の発症を惹起し、生命を脅かす状態へと発展する。近年、フレイルやロコモティブシンドロームは国家の基本指針にも盛り込まれ、国民あけて介護予防に取り組んでいる。人の加齢性変化と介護予防の現場を知り、国民ひとりひとりが取り組むべき課題について討論していく。
4	石松祐二（医学部保健学科教授）：感染症、リスクマネジメント 本邦では経済状況と公衆衛生の向上により、多くの古典的伝染病は減少してきた。また、医療技術の目覚ましい進歩により、従来不可能だった手術や薬物治療が可能となった。一方で、高齢者の増加に伴って免疫力の低下した患者が増加し、従来病原細菌と認識されなかった細菌が臨床の場で大きな問題となっている。発達した交通網によって全世界的に感染症が蔓延する危険も併存する。更に、医療訴訟や個人情報管理などの問題も指摘されている。こうした医療現場を取り巻く諸問題を通して、医療現場の安心について理解を深める。
4	長井一浩（大学病院講師）：医療の不確実性（合併症と医療過誤） 医療技術の高度化は自然科学としての医科学の進歩を基盤としている。しかし、実際の診療現場で行われる医療行為は、患者（ヒト）を対象としているため、学問としての「サイエンス」のみで成り立つものではなく、多種多様なリスクを伴わざるを得ない。本講では、医療現場における合併症や医療過誤とそのマネジメントへの取り組みを供覧することを通じて、現代医療の根底に横たわる「不確実性」とそれを取り巻く医療者・患者・社会間の諸相を考察する。
4	佐々木規子（医学部保健学科助教）：遺伝 遺伝医療は、近年急速に進歩しており、診断、治療、健康管理などにおいて幅広く応用されている。しかし一方で、未だ存在する遺伝に対する偏見や差別、遺伝情報の特殊性により遺伝の問題はより複雑化している。遺伝医療の現状を知るとともに、誰にでも起こり得る遺伝の問題について考える。

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2019/09/30~2019/11/25		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587027301	科目番号 / Course code	05870273
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12161_005		
授業科目名 / Course title	心が安らぐ安全な社会づくり (社会科学からみた安全・安心) / Safety and Security Viewed from the Social Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤田 渉 / Fujita Wataru, 小関 弘展 / Koseki Hironobu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤田 渉 / Fujita Wataru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤田 渉 / Fujita Wataru		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	wfujita nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	#204 Southeast Asian Institute, Katafuchi Campus		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	Monday from 12:40 to 12:50 at the class room		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	For businesses and individuals, only catastrophes and depressions are not dangerous. Unemployment or bankruptcy easily drives one person into ruin. This lecture covers a variety of unexpected dangers and anxiety from the viewpoint of social science, especially economics.		
授業到達目標/Course goals	1.To be able to outline the relation between the main findings obtained from standard economics and the risk of society (?@, ?B, ?C, ?D, ?F, ?G, ?J), 2. To be able to calculate the basic relation between time and value (?@, ?A, ?E, ?F), 3. To be able to outline the planning and risks. (?@, ?B, ?E, ?H, ?I) ,4. To be able to outline dilemmas and trade-offs (?@, ?A, ?B, ?C, ?D, ?F, ?G).		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	In-class small essays for comprehension check(3 to 4 points × 15 times = 50 points) + Essays on LACS(10 to 20 points × 3 times = 40 points) + Effort to class (10 points) =100 Pass score is over 60 points		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	Watch LACS and the classroom blackboard well.		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	Introductory economics textbooks such as Manukiw, Stiglitz, Krugman etc. are recommended as reference books.		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	藤田 渉/シンクタンク (三菱総合研究所) における経済分析および政策支援/実務経験に基づき、産 業構造分析と政策支援について本授業科目に必要な基本的知識を講義する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1st	Introduction
2nd	Time and Value
3rd	Uncertain Informations and Risks (1)
4th	Uncertain Informations and Risks (2)
5th	Insurance and Risk hedge
6th	Risks over the Employment and Labor (1)
7th	Risks over the Employment and Labor (2)
8th	Strategies and Options(1)
9th	Strategies and Options(2)
10th	Business Risks and Strategies(1)
11th	Business Risks and Strategies(2)
12th	Non-Intuitive Events(1)
13th	Non-Intuitive Events(2)
14th	Topics
15th	Summary

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2019/09/30~2019/11/25		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587027301	科目番号 / Course code	05870273
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12161_005		
授業科目名 / Course title	心が安らぐ安全な社会づくり (社会科学からみた安全・安心) / Safety and Security Viewed from the Social Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤田 渉 / Fujita Wataru, 小関 弘展 / Koseki Hironobu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤田 渉 / Fujita Wataru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤田 渉 / Fujita Wataru		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	wfujita_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部 (片淵キャンパス) 東南アジア研究所204		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日12:40~12:50 上記以外は、Eメールにより質問を受け付けます		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>経済主体である企業や個人にとって、大災害や大恐慌だけが危険ではありません。失業や破産は、容易に個人を破滅に追い込みます。周囲は平和なのに。悲しいですね。社会科学、特に経済学の視点から見た危険や不安について考え理解することを目的とします。</p> <p>経済学ではリスクと言えば金融工学などで多用される概念ですが、そういった知識は現代社会において必須なことは確かなので入り口は紹介する必要があるでしょう。しかし経済学、あるいは経済学的な考え方や経済と結びついた法知識の欠如による錯誤から陥穽にはまることのリスクの方がより重大かもしれません。</p> <p>全学教育、あるいは教養教育という視点からいくつかのトピックスを提示します。それは時間と価値の関係、リスクの金銭的評価、リスクとリターンという、現代の経済社会に身を置く以上、知らなければならない知識の全くの入口を学習します。</p> <p>さらに経済事象における確率的なものの考え方や、ダメージに対するリスクヘッジについての初歩的な知識を学習します。</p> <p>しかしリスクの潜む場所はこれら投資や保険にかかわるところだけではありません。社会は常にトレードオフとジレンマに溢れています。経済政策から個人の周囲まで、溢れるこれらのリスクのタネについて広く浅く学んでいきます。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>1. 標準的な経済学から得られる主要な知見と社会のリスクの関係について概要を述べることができる (?0、?B、?C、?D、?F、?G、?J、2. 時間と価値の関係について基礎的な計算ができる (?0、?A、?E、?F)、3. 計画とリスクについて基礎的な計算ができるとともに意見を述べるができる (?0、?B、?E、?H、?I)、4. ジレンマやトレードオフについて基礎的な説明ができるようになる (?0、?A、?B、?C、?D、?F、?G)</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	内容理解確認授業内小レポート (3?4点×15回=50点) + レポート課題 (10?20点×3回=40点) + 授業への取り組み (10点) = 合計100点の内60点以上を合格とする		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	可能な限りLACS上に参考資料や参考となるURLを掲載しますので自主学習の参考とすること。		

キーワード/Keywords	
教科書・教材・参考書/Materials	<p>授業で用いる資料はプリント、LACS、または直接に板書で提供する。</p> <p>現在容易に入手できる標準経済学の入門図書としては  N. グレゴリー マンキュー『マンキュー入門経済学（第2版）』、『マンキュー経済学 II マクロ編（第3版）』、『マンキュー経済学 I ミクロ編（第3版）』の3部作  J.E. スティグリッツ、C.E. ウォルシュ『スティグリッツ入門経済学 第4版』、『スティグリッツ マクロ経済学（第4版）』、『スティグリッツ ミクロ経済学（第4版）』の3部作  P. クルーフマン、R. ウェルス『クルーフマン ミクロ経済学（第2版）』、『クルーフマンマクロ経済学』の2部作  がある。これらは経済学専攻の学生のためだけでなく、広くビジネス社会で生きる人々の共通図書となっている。</p> <p>リスクマネジメントのテキストは経済、経営系では溢れるほど出版されている。数学知識のある者、またない者に応じて、自分で探してみるとよいだろう。金融機関や証券投資会社のホームページを渉猟するのも面白いかも知れない。いわゆるポジショントークの世界であり、リスク満点である。</p>
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先  （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948  （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp</p>
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	藤田 渉/シンクタンク（三菱総合研究所）における経済分析および政策支援/実務経験に基づき、産業構造分析と政策支援について本授業科目に必要な基本的知識を講義する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回（日時）/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	<p>イントロダクション  経済学の考え方。標準的な経済学から得られる主要な知見  トレードオフと機会費用  授業内小レポート</p>
第2回	<p>時間と価値  指数法則、自然対数の底と複利計算  リボルビング払いのシミュレーション  授業内小レポート</p>
第3回	<p>不確実情報とリスクの初歩1  金利と現在価値、投資について  授業内小レポート</p>
第4回	<p>不確実情報とリスクの初歩2  リスクプレミアムなど  授業内小レポート</p>
第5回	<p>保険とリスクヘッジ  起きたら大変なことになることは、起きないようにすることはできない  授業内小レポート  （第1回）中間課題についての確認</p>
第6回	<p>雇用と労働をめぐるリスク1  学生アルバイトに潜むリスク、賃金の範囲、フランチャイズの問題など  授業内小レポート</p>
第7回	<p>雇用と労働をめぐるリスク2  何がアルバイト学生の判断の障害となるのか、就活との関連  授業内小レポート</p>
第8回	<p>戦略と選択1  ゲーム的なものの考え方  授業内小レポート</p>
第9回	<p>戦略と選択2  投資と損失  授業内小レポート</p>
第10回	<p>経営のリスクと戦略 1  起業や市場への新規参入  授業内小レポート</p>

第11回	<p>経営のリスクと戦略2</p> <p>グローバル時代における企業戦略の考え方はどうして決まったのかをモデル化してみる</p> <p>授業内小レポート</p> <p>(第2回)中間課題についての確認</p>
第12回	<p>直感的でない世界1</p> <p>モラルハザード(倫理の危機)の前半、「信用」は現実社会で極めて重要な要素であり、単に信用を失っただけで創業何十年というような老舗企業であっても簡単に市場から消え去る</p> <p>授業内小レポート</p>
第13回	<p>直感的でない世界2</p> <p>モラルハザード(倫理の危機)の後半、依頼人と代理人の関係(プリンシパル・エージェンシー問題)</p> <p>授業内小レポート</p>
第14回	<p>直感的でない世界3</p> <p>勝ち負けと倫理の関係</p> <p>授業内小レポート</p>
第15回	<p>授業のまとめとトピックス</p> <p>これまでの内容を確認するとともに、興味深いトピックスがあれば解説する</p> <p>授業内小レポート</p> <p>期末課題についての確認</p>

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2019/11/27 ~ 2020/02/03		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587027701	科目番号 / Course code	05870277
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12171_005		
授業科目名 / Course title	心が安らぐ安全な社会づくり (工学から見た安全安心(エネルギーと資源)) / Energy and Natural Resources from the Viewpoint of the Engineering		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	桃木 悟 / Momoki Satoru, 山口 朝彦 / Yamaguchi Tomohiko, 小関 弘展 / Koseki Hironobu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	桃木 悟 / Momoki Satoru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	桃木 悟 / Momoki Satoru, 山口 朝彦 / Yamaguchi Tomohiko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医学部、歯学部、工学部、環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	momoki nagasaki-u.ac.jp, "tomo" (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	工学部1号館3階 基礎エネルギー工学G研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2528(桃木)/2531(山口)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜: 5校時(事前にe-mailで、予約するのが望ましい。)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	日本のエネルギーのあり方を考えるために、日本のエネルギー事情、資源(食料、化石燃料、レアメタル、鉄など)の今後、国民生活とエネルギー需給、IPCCの報告書をめぐる環境問題の捉えかたを、安全の問題を踏まえてテーマとする。		
授業到達目標/Course goals	日本と世界のエネルギーと資源の基本問題が説明できること。自分なりの問題解決策の第1歩を提案できること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	毎回の講義出席を原則とし、定期試験(70%), 3回のレポート(30%)で総合評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	環境問題, 化石燃料, 原子力, エネルギーの質, 地球温暖化, 食料増産		
教科書・教材・参考書 / Materials	担当教員が、適時資料を配布するか、または、受講者各自にdownloadしてもらおうURLを知らせる。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	日本は、天然資源のほとんどを外国に依存しているにも関わらず、エネルギーの問題は、1973年および1979年のオイルショックの後にはあまり関心を集めてこなかった。しかし、地球温暖化の問題や東日本大震災を経て、国民の全体の課題として広く関心を集めている。受講者は、常に新聞やテレビなどのメディアが発信するエネルギー関連の情報に常に注意を払い、疑問があったらすぐに自分で調べる態度を続けて欲しい。		



実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	概説, 準備, アンケート	A
第2回	エネルギーとは: そもそもエネルギーとは何なのか, どのくらい重要な のかについて, それを " 定量的 " に議論する最低限の素養を身につける ための講義を行う。	F
第3回	エネルギーの定量的な取り扱いに関する講義の続き。	F
第4回	エネルギーに関する歴史: 需要と供給について定量的に考え方を交えながら, エネルギー利用技術 と社会の状況に関する歴史について講義する。	F
第5回	発電について 1: 発電の方法および効率に関する簡単な講義と, 国内技術の現状について 説明する。電気の供給とそのために消費される一次エネルギーや, それ に起因した地球環境問題について議論する。	F
第6回	発電について 2: 電気の供給とそのために消費される一次エネルギーや, それに起因した 地球環境問題について議論する。	A
第7回	国内および世界のエネルギー事情 ( 1 ) : 資源エネルギー庁による最新版のエネルギー白書を参考にここ数年の日 本国内のエネルギー事情に関し講義する。 また, 長崎大学での海洋エネルギー利用技術研究の現状を簡単に紹介す る。	F
第8回	国内および世界のエネルギー事情 ( 2 ) : 日本機械学会動力エネルギー 技術部門や日本伝熱学会等, 国内外のエネルギーに関連した分野の研究 者や技術者の関連動向を踏まえて, 最新の状況について講義する。	F
第9回	IPCC第5次評価報告の概要 Working Group I : 気候変動の概況と予測, およびその科学的根拠を講義する。	F
第10回	IPCC第5次評価報告の概要 Working Group II : 気候変動の影響を講義する。	F
第11回	IPCC第5次評価報告の概要 Working Group III : 気候変動の緩和策を講義する。	A B
第12回	IPCC第5次評価報告の概要 統合報告書: Working Group I-IIIの報告の 総括	A B
第13回	COP3における京都議定書の採択と, それ以降のCOPについて説明する	F
第14回	IPCCの報告書をめぐる環境問題の捉えかた: IPCC評価報告書の社会への影響とさまざまな意見を議論する。	A B
第15回	持続的社會に向けての取り組み: 省エネルギー対策, 再生可能エネルギーの開発, 原子力の現状などを議 論する。	A B
第16回	定期試験	E